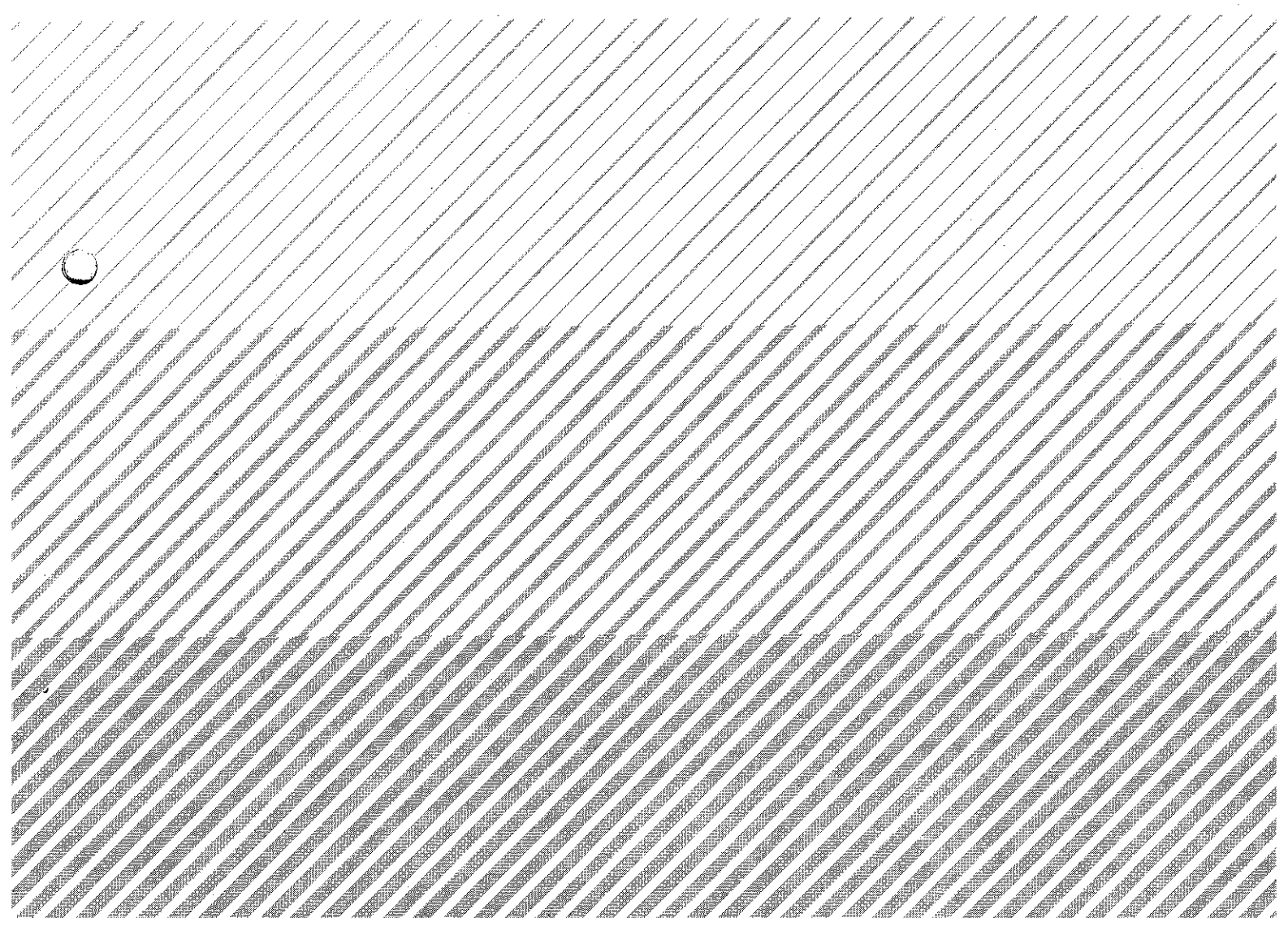


KAWAI

デジタルピアノ

DIGITAL PIANO
PN60





取扱説明書






安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。表示と意味は次のようになっています。





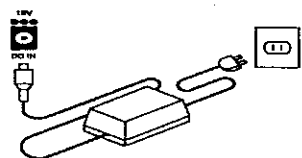

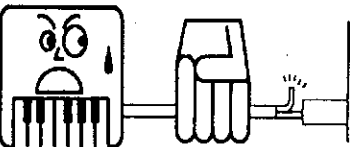

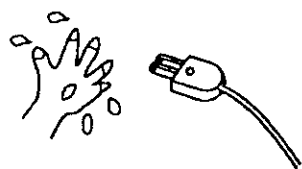
製品本体に表示されているマークには次のような意味があります

	注意 感電の危険あり 本体をあけるな			このマークは、感電の危険があることを警告しています。
注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、さらさないで下さい。				このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

この「安全上のご注意」に記載されている絵表示の例

	△記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。 左図の場合は「指を挟まないよう注意」が描かれています。
	○記号は禁止（行ってはいけない）の行為あることを告げるものです。 左図の場合は「分解禁止」が描かれています。
	●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。 左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

警告

電源は、必ずAC100Vを使う				<ul style="list-style-type: none"> *付属のACアダプター、或いは当社推奨のものを使用して下さい。 *ACコードの場合、電源電圧の異なるものを使用しないで下さい。 *発火の恐れがあります。
長時間ご使用しない時は必ず電源プラグを抜く			<ul style="list-style-type: none"> *落雷時に火災の原因になります。 *アダプター本体の温度が上がり、火災の原因になります。 	
電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く			*コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。	
水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない			感電の原因になります。	

本機を落とさない



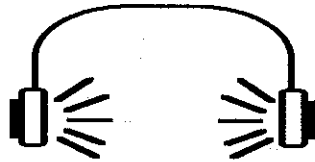
運搬の際は、必ず2人以上で運んで下さい。

本機を分解、修理、改造しない



故障、感電、ショートの原因になります。

ヘッドホンは、大音量で長時間使用しない



聴力低下の原因になる恐れがあります。

⚠ 注意

本機を次のような所では使用しない

- 窓際など直射日光の当たる場所
- 暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
- 戸外など極端に温度の低い場所
- 極端に湿度の高い場所
- 砂やホコリの多い場所
- 振動の多い場所

使用禁止



故障の原因になります。

コード類を接続するときは、各機器の電源を切っている

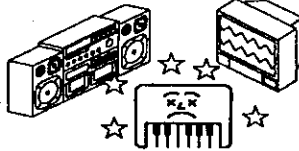
電源を切る



本機や接続機器の故障の原因になります。

テレビやラジオ等の電気機器の側に置かない

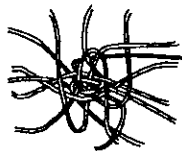
他電気機器から離す



*本機が雑音を発する恐れがあります。
*本機が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用下さい。

電源コード、接続コード類はからまないように接続する

からまないようにする



コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

本機の内部に異物が入らないようにする

異物を入れない



水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

ベンジンやシンナーで本機を拭かない

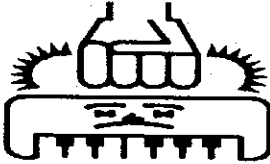
ベンジン/シンナー禁止



*色落ちや、変形の原因になります。
*清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いて下さい。

本機の上に乗ったり、圧力を加えない

上に乗らない



変形したり、倒れる恐れがあり、故障や、けがの原因になります。

いすは次のように使用しない

- いすで遊んだり、踏み台にしない
- いすには2人以上で座らない
- いすの高さ調節は、いすから降りて行う

使用しない



いすが倒れたり、指をつめる恐れがあり、けがの原因になります。

本機の鍵盤にもたれない

もたれない



本体が倒れる恐れがあり、けがの原因になります。

保証書について

- 本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。
- 保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管下さい。

修理について

- 万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡下さい。

スタンド組み立て方法

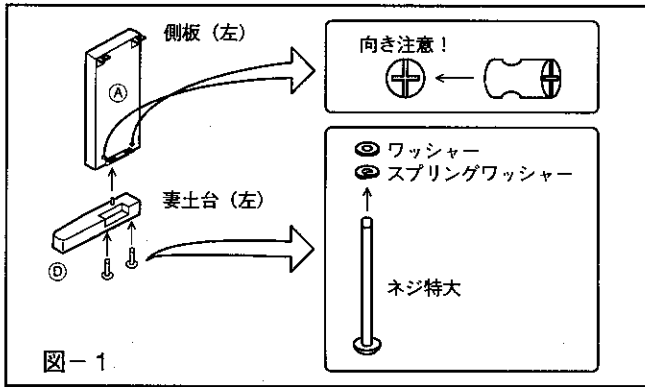


図-1

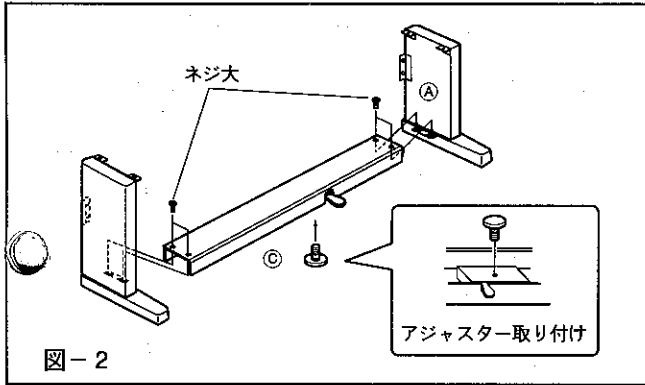


図-2

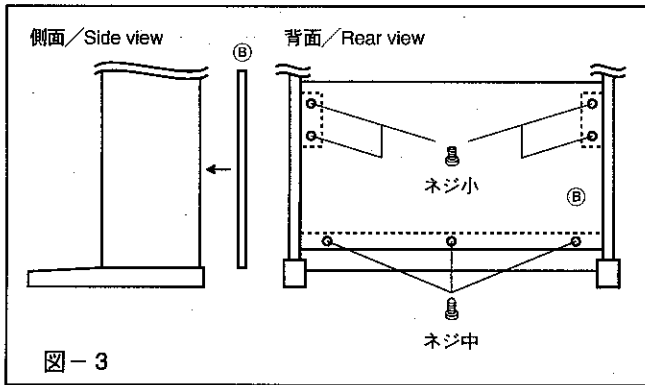


図-3

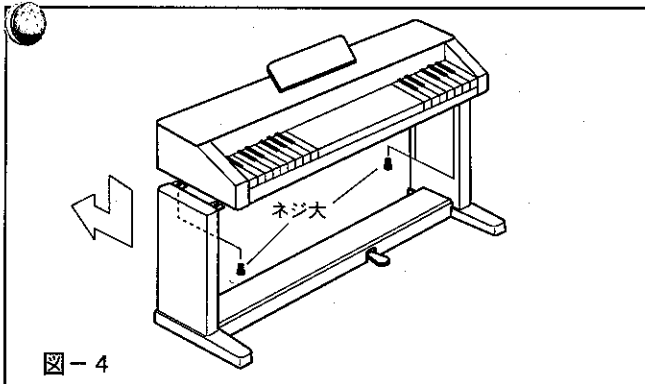


図-4

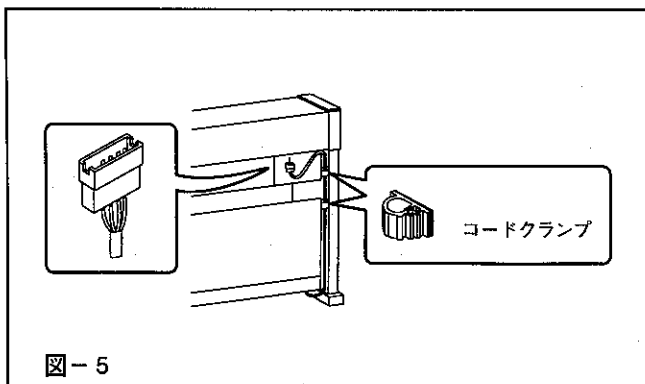
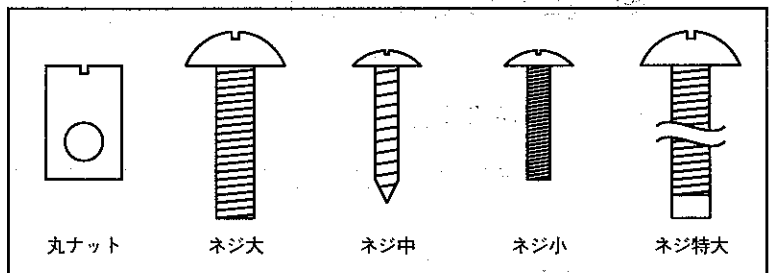


図-5

スタンドは、この説明書に従って組み立てて下さい。

■組み立てパーツ一覧

●側板A	2枚
●裏板B	1枚
●ペダル土台C	1枚
●妻土台D	2本
●ネジ [大]	8本
●ネジ [中] (木ネジ)	3本
●ネジ [小]	4本
●ネジ特大	4本
●ワッシャー	4枚
●スプリングワッシャー	4枚
●丸ナット	4個
●アジャスター	1個



■組み立て順序

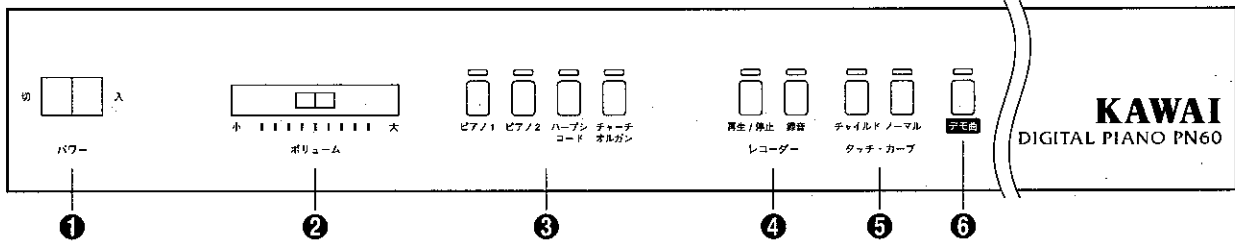
1. 側板Aの下の穴に⊕の長手方向が、上下を向くように丸ナットを入れます。(図-1 右上図)
2. ネジ特大に、スプリングワッシャー、ワッシャーを順に通します。(図-1 右下図)
3. 側板Aを妻土台Dの左右に注意して取り付け、妻土台Dの下からワッシャー類をつけたネジ特大で2ヶ所固定します。(図-1 左)
4. 右部分も同様に組み立てます。
5. Cを裏返しにして、アジャスター (高さ調整ネジ) を1cmぐらいはめ込みます。(図-2)
6. AとCを4本のネジ [大] で固定します。(図-2)
7. 裏板Bをネジ穴が3個ある方を下にして背面からあて、ネジ [小] で側板Aと、ネジ [中] でペダル土台Cと固定します。(図-3)
8. 本体を少し手前からスタンドに乗せて後ろへずらします。(図-4)
9. ×マークが手前に倒れないように下から押さえながら、4本のネジ [大] で固定します。
★注意：本体とスタンドは必ず付属のネジでしっかりと固定して下さい。
固定しないと鍵盤部分がスタンドから落ち、大変危険です。
10. Cから出ているペダル接続コードを本体のペダル端子に差し込み、コードクランプでとめます。(図-5)
11. ペダル土台Cにはめてあるアジャスターを床にぴったり付くまで回してペダル土台を補強します。

目次

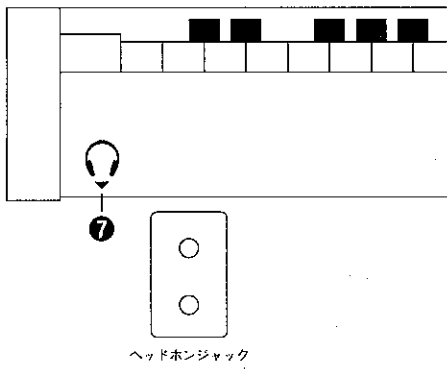
1 各部の名称と働き	1
2 演奏してみましよう	3
1. 基本操作	3
2. 音色を2つ重ねる (デュアル機能)	4
3. タッチカーブ	5
4. デモ曲の演奏方法	6
3 録音してみましよう	7
1. 演奏の録音	7
2. 演奏の再生	8
主な仕様	9

各部の名称と働き

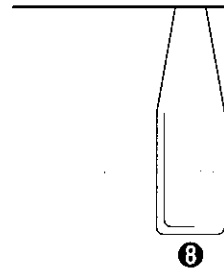
●フロントパネル



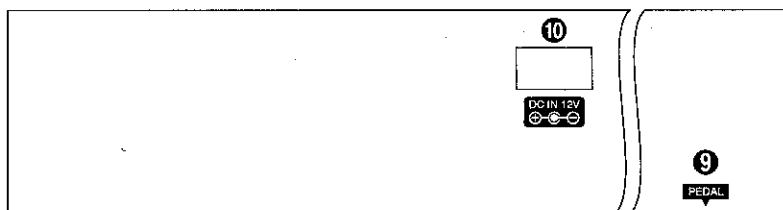
●ヘッドホン端子 (本体下部)



●ペダル (スタンド下部)



●リアパネル (本体背面)



① パワー

電源をオン／オフするスイッチです。ご使用後は、必ず電源スイッチを切って下さい。

② ボリューム

内蔵スピーカーやヘッドホンから出力される音量を調整します。右側に行くほど音量が大きくなり、左側に行くほど音量が小さくなります。

③ 音色セレクトボタン

音色を選択するボタンです。演奏したい曲目などに合わせて好みの音色セレクトボタンを押して下さい。

④ レコーダー

再生／停止、録音の2つのボタンを使ってあなたの演奏を録音、再生することができます。

再生／停止

レコーダーを再生、停止させます。

録音

レコーダーで演奏を録音する時に使います。

⑤ タッチカーブ

タッチカーブを選びます。

⑥ デモ曲

デモボタンで、デモ曲を選びます。

⑦ ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続する端子です。2本のヘッドホンが同時に使えます。

⑧ ダンパー・ペダル

鍵盤から手を離しても音が長く伸び、余韻のある豊かな音になります。

⑨ ペダル端子表示

ダンパー・ペダルのプラグを接続する端子の位置を示します。

⑩ ACアダプター端子

付属のACアダプターPS-124D (12V, 2A) を接続する端子です。

演奏してみましょ

1. 基本操作

ここでは音を出すまでの基本的な手順を説明します。

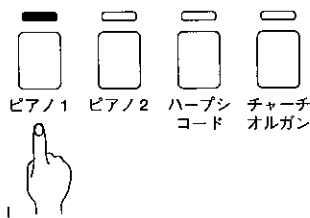
ステップ1 付属のACアダプターを本体のアダプター端子に差し込み、電源プラグをAC100Vのコンセントに差し込みます。

ステップ2 **パワー** スイッチをオンにします。

ステップ3 ボリュームレバーを中央付近にセットして下さい。



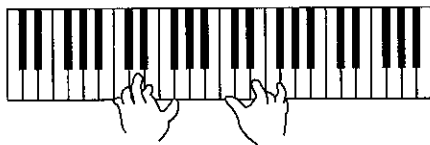
ステップ4 音色を選びましょう。
音色セレクト・ボタンのの中から好きな音色をひとつ選んで押して下さい。押された音色のランプが点灯します。



ひとつ選んで押します。

*電源をオンした時は、自動的にピアノ1の音を選択されます。

ステップ5 鍵盤を弾いてみましょう。



選んだ音色が出ます。いろいろな音色に切り替えてメロディーを弾いてみましょう。

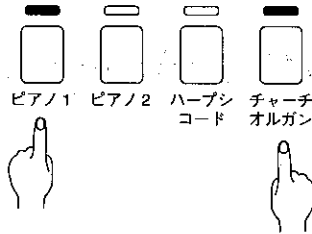
*複数の鍵盤を同時に押した場合、最大24音まで発音します。

2. 音色を2つ重ねる (デュアル機能)

2つの音色を重ねることにより厚みのある音色で演奏することができます。これをデュアル機能といいます。

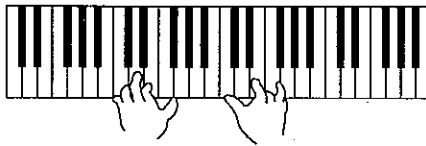
ステップ1

ピアノ1 と **チャーチオルガン** を押してみましょ。
押された音色のランプが点灯します。



ステップ2

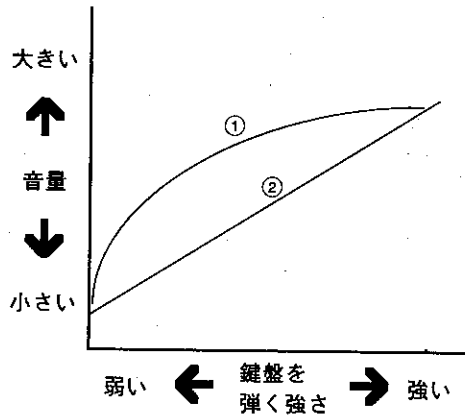
鍵盤を弾いてみましょ。
鍵盤を弾くと2つの音色が重なって鳴ります。



*デュアル機能使用時は、複数の鍵盤を同時に押した場合最大12音まで発音します。

3. タッチカーブ

ピアノでは、鍵盤を弾く力をだんだん強くしていくと、音量もだんだん大きくなっていきます。下の表は、鍵盤を弾く強さと音量との関係を表したものです。本機では、2種類のタッチカーブを選ぶことができます。

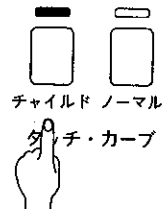


①チャイルド：弱いタッチで弾いても大きな音がでます。小さなお子様や、オルガンプレーヤー向けのタッチカーブです。

②ノーマル：アコースティックピアノと同じ程度のタッチで音量が変化します。

ステップ1

電源オン時は、本機のタッチカーブはノーマルに設定されていますので、ここでタッチカーブの **チャイルド** ボタンを押してタッチカーブを変えてみましょう。



すると、**チャイルド** ボタンの上のランプが点灯し、先ほどのノーマルの時より弱いタッチで弾いても大きな音が鳴るようになります。

*タッチ機能をオフにする場合は、点灯しているボタンを押して下さい。するとランプが消灯し、タッチ機能はオフになります。

4. デモ曲の演奏方法

本機では、12曲のデモ曲を内蔵し、**デモ曲** ボタンと鍵盤を使って好みの曲を演奏できます。デモ曲は、全ての曲を連続しての演奏や押す鍵盤の音階名により12曲の中から選択でき、例えば、C（ド）を押すことによって“乙女の祈り”が選曲できます。押す鍵盤は、どの高さのC（ド）でもかまいません。

では、デモ曲を聴いてみましょう。

鍵盤	曲目
C（ド）	乙女の祈り
C#（ド#）	エリーゼのために
D（レ）	トルコ行進曲
D#（レ#）	愛の夢
E（ミ）	ノクターン 作品9-2
F（ファ）	ワルツ第2番<華麗なるワルツ>
F#（ファ#）	小犬のワルツ
G（ソ）	別れの曲
G#（ソ#）	幻想即興曲
A（ラ）	紡ぎ歌
A#（ラ#）	きらきら星変奏曲
B（シ）	貴婦人の乗馬

ステップ1

・全曲を連続して聴くには…。

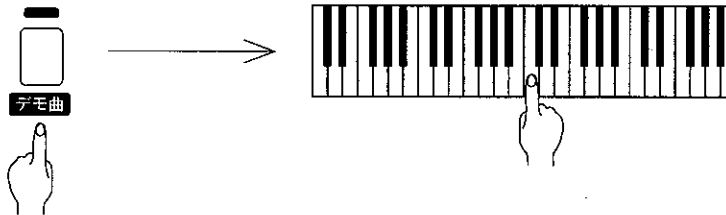
デモ曲 ボタンを押します。



・好みの曲を聴くには…。

デモ曲 ボタンを押しながら、聴きたいデモ曲の鍵盤を押します。

ここでは、“C”の“乙女の祈り”を選びます。



ステップ2

デモ曲を止めるときは、**デモ曲** ボタンをもう一度押すか、**再生/停止** ボタンを押します。

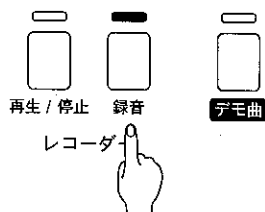
録音してみましょう

1. 演奏の録音

本機には演奏が録音できるレコーダー機能があります。ピアノの練習や演奏のチェックにご利用して下さい。では、録音をしてみましょう。

ステップ1

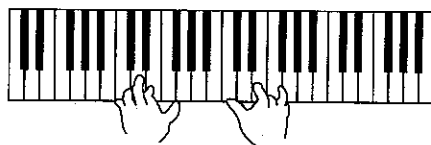
録音 ボタンを押します。



手を離すとボタンのランプが点滅し、録音待機状態になります。

ステップ2

鍵盤を弾きます。

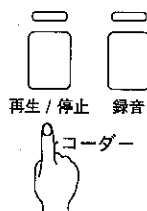


鍵盤を弾くと、自動的に録音が始まります。**録音** ボタンのランプが点灯します。

* **ステップ1** の後に **再生/停止** ボタンを押しても録音が始まります。

ステップ3

演奏が終わったら **再生/停止** ボタンを押します。



録音 ボタンと **再生/停止** ボタンのランプが消え、録音がストップします。

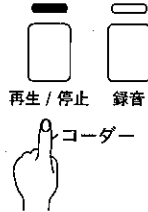
2. 演奏の再生

録音が終わったら再生して聴いてみましょう。

ステップ1

再生/停止 ボタンを押します。

録音時の音色で再生が始まります。



ステップ2

再度 **再生/停止** ボタンを押すと再生がストップします。



*演奏が終了したら自動的に再生がストップします。

*1度録音して、再び録音を行うと、前に録音した曲が消えてしまいます。

*録音した演奏は、電源を切っても約1週間消えません。

*録音できる音数は、約1,200音です。

*テンポを変えるには…

録音 ボタン、または **再生/停止** ボタンを押しながら、**ハープシコード** ボタンを押します。押すごとにテンポが遅くなります。

また、押し続けると徐々にテンポが遅くなります。

録音 ボタン、または **再生/停止** ボタンを押しながら、**チャーチオルガン** ボタンを押します。押すごとにテンポが速くなります。

また、押し続けると徐々にテンポが速くなります。

*メトロノーム音を消すには…

録音 ボタンを押しながら、**ピアノ2** ボタンを押します。再び押すとメトロノーム音が発音に戻ります。

■主な仕様

鍵盤	76鍵
発音数	最大24／デュアル時最大 12
音色	ピアノ1、ピアノ2、ハーブシコード、チャーチオルガン
レコーダー	記録容量 約1,200音
ペダル	ダンパー
外部端子	ヘッドホン×2、ペダル専用ジャック、DCイン（12V）
出力	7W×2
スピーカー	12cm×2
定格電圧	AC100V, 50/60Hz（付属のACアダプターPS-124D（12V, 2A）で動作） 125A
消費電力	15W（当社推奨アダプター使用時）
仕上げ	ブライト・コスモブラック
寸法 (W×D×H)cm	118×45×79
重量	33.5kg

KAWAI

ⓀⓀ 株式会社 河合楽器製作所

電子楽器事業本部

〒430 静岡県浜松市寺島町200 TEL.053 (457) 1277

9503L

Printed in Japan